

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 20 号

平成 5 年 5 月 15 日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



スポーツ親善訪中団員、交流試合を終え、歓送パーティーでVサイン

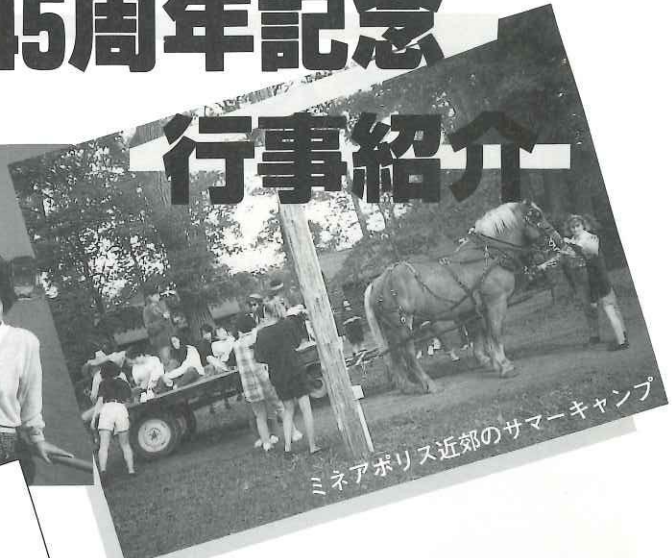
目次

- 市制施行45周年記念行事紹介 P 2
- 今年 2 月、安慶市から代表団 P 3
- 安慶市と 4 度目のスポーツ交流 P 4
- 10 月、ミ市・安慶市への訪問団 P 5
- レベルアップした英語スピーチ大会 P 6
- オリーブの島を訪ねて P 7

市制施行45周年記念

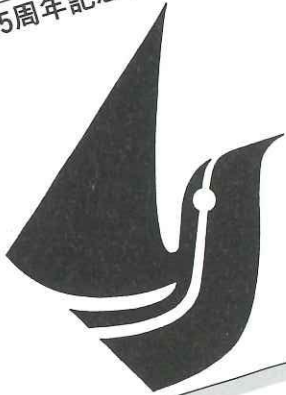
行事紹介

安慶・振風塔を背景に (1991年)



ミネアポリス近郊のサマーキャンプ

市制施行45周年記念シンボルマーク



一回目の曲技公演

今年も新しい年度がスタートしました。市制施行45周年を迎えた今年は、盛りだくさんの交流行事を予定しています。実施順に紹介します。

◎市民親善訪中団を安慶市へ派遣 (5月)

協会会員と市民からなる総勢29人が新緑の安慶市を訪問。交流活動で両市間の友誼を深めた後、南京・上海など近代化の進む中国の諸都市を見学します。

◎少年サッカーチームをミネアポリス市へ派遣 (7月)

ミネアポリス市で開催される「USA杯」青少年サッカー大会に中学生のサッカーチームが参加します。1週間のホームステイです。

◎市民親善訪問団をミネアポリス市へ派遣(7月)

平成3年に好評を得たキャンプ交流を今年も計画しました。森と湖のキャンプ場でアメリカの少年少女とのキャンプファイヤー等野外活動を楽しみます。学生の皆さんが対象です。

一方、成人の方々には美しい街並の見学やホームステイが予定されています。

◎ミネアポリス市音楽グループの来茨 (7月)

夏の茨木フェスティバルにミネアポリス市からの音楽グループが花を添えてくれます。市民総合センター(クリエイトセンター)でコンサートも開かれますので、多数ご来場下さい。

◎安慶市曲技団の来茨 (10月)

5年前、素晴らしい公演で市民を魅了した曲技団が再訪します。鍛え、磨きぬかれた伝統の技を生みの迫力でご鑑賞下さい。また、華麗な中国舞踊と歌曲が私達の心をなごませることでしょう。



北中を訪れて一張団長のスピーチ

張伏生中国人民政治協商會議安慶市委員会主席を団長に、安慶市人民政府副秘書長、監察局局長などを団員とする「安慶市友好代表团」5人が、去る2月23日から茨木市を訪問しました。

一行は、4日間の短い滞在ではありましたが、市長・議長をはじめ、茨木商工会議所を表敬訪問しました。また、疲れもみせず精力的にジャスコ新茨木店やサッポロビール大阪工場の見学、中央図書館、西河原小学校、北中学校、文化財資料館、環境衛生センターなどの公共施設を視察しました。

本協会の茨木市・安慶市友好都市委員会の委員との懇談では、梁熱安慶市人民政府副秘書長から、安慶市の現状報告や来る7月に開港予定されている空港建設の進捗状況などが報告され、年々変貌しつつある安慶市を紹介されました。

この空港ができますと、今まで、2日がかかりで安慶市へ入っていたのが、1日で可能となります。

参加された委員からは、「中学生によるサッカー交流や成人のゲートボール交流など、検討願いたい」や「昨年、10月の訪問では大変お世話になりました」などの発言がありました。

梁熱氏は、「多くの茨木市民の安慶市訪問を心から歓迎いたします」と述べられ、終始なごやか

今年2月、安慶市から代表团



▲西河原小で授業参観
◀文化財資料館を見学



大阪城公園を散策して

な雰囲気の中で、懇談会が終了しました。

平成5年度交流計画については、両市の代表者が協議し、今後、さらなる友好を深めていくことを確認しました。本年は、友好都市締結8周年、茨木市制施行45周年を記念して、10月に安慶市から曲技団を招き、すばらしい技を披露していただきます。

張団長は、「茨木市は、大変きれいなまちで参考になることが多々あった。市民の皆さんと交流し、両市の友好が一層深まっていくことを確信しました」と感想を述べられ、帰国時の笑顔が印象的でありました。

安慶市と

4度目の

スポーツ交流

昨年9月来訪した安慶市の水泳・卓球チームとの再会を楽しみに、「茨木市スポーツ親善訪中団」一行37人は去る3月24日、雨の降り始めた大阪国際空港を出発しました。

上海での第1日目から、大雨のため飛行機が欠航するなどのハプニングはありましたが、道中、広大な土地や菜の花畑の多さに驚いたりして、25日夕刻無事安慶に到着。到着直後の市政府表敬訪問ではTV取材があり、当日放映されました。

26日、27日は水泳・卓球の交流試合でした。自分の競技がない時は「日本」と応援したり、英語や中国語、それに何よりも身ぶり手振りで安慶の選手達と会話をし、それが通じることに感動しました。試合の結果は、1位が9人(組)とまずまずの好成績でした。

安慶市では交流試合のほか、迎江寺の塔に上り、長江の大きさに感心したり、見学先の中学校で大歓迎を受け、人々の温かい心に触れました。



水泳・女子チーム、プールで大はしゃぎ



開会式前、鼓笛隊の子ども達



中国で学んだこと

天王中1年
(水泳選手)

片山涼太

スポーツ親善訪中団として中国へ行き、とても勉強になったことが3つあります。1つは中国の景色です。大きなスケールで歴史の感じられる建物や、特に長江を見た時はとてもうれしかった。2つ目は、安慶の中学生と水泳をしたことで、競技の後、横で泳いでいた選手が握手を求めてくれた時、それまで2位で暗くっていた気持ちが晴れました。3つ目は友達との出会いです。これまで知らなかった人達と知り合いになれ、楽しい8日間でした。



訪中を終えて

北中1年
(卓球選手)

山田紗知子

試合の日会場に行くと、小学生くらいの子供達が楽器を演奏してくれて、とてもにぎやかでした。試合の中身はというと、中国の選手はとても強くて、勢いがありました。10才ぐらいの女の子もいて、私はダブルスの試合をしました。安慶の最後の日にはパーティーがあり、水泳も卓球もみんな仲良くなって、中国の選手とも少し話をしました。

今度、中国の選手が日本に来た時は、今回よりもっと楽しく過ごしたいです。

アメリカでも有数の“人権先進都市” ミネアポリス市で、同市の人権問題の取り組みと現状を関係者との懇談をとおして学び、人権意識の高揚を図るため、人権交流訪問団が10月、紅葉に彩られたミネアポリス市を訪れました。

訪問団は、ミネアポリス市長表敬訪問後の「ミネアポリス市の人権政策」についての懇談を皮切りに、ミスティック・レイク・カジノで「シャコピー・ムデワカントン・スー族」について族長の概況説明を聞くまで、障害者問題3つ、人権行政、女性問題、難民問題、先住民問題についてそれぞれ1つずつ、合計7つの幅広い交流を展開し、アメリカの人権感覚に触れました。

アメリカ社会では、自分の仕事をするのは当然で、それ以外に社会に貢献することが当

たり前となっている。即ち、自分のためにボランティアをしているという進んだボランティア意識と現状を、身をもって体験することで、いわゆる人権意識の本質に触れました。

この訪問団の報告書を、茨木市が「THE BLUE SKY IN MINNEAPOLIS—人権交流報告書」という冊子にまとめましたので、人権啓発の資料としてご活用下さい。ご希望の方は事務局まで。



10月、三市・安慶市への訪問団

1992年は中国観光年であり、上海・南京などの大都市は、世界各国から多数の観光客で賑わっていました。そのような中、10月7日から14日まで、民謡民舞同好連盟のメンバーを中心に編成された「茨木市民親善訪中団」一行21名が安慶市を訪問しました。

安慶市では「黄梅劇芸術祭」が盛大に催され、当地の人民劇場は、多数の安慶市民が黄梅劇を鑑賞しており、華麗な踊りとすばらしい歌声に訪問団一同は感激しました。

人民劇場で民謡の踊りの公演



団員は、日本の民謡・民舞が中国の人々に理解していただけるかどうか、そのような不安の中で、リハーサルを開始。観客席には、黄梅劇団の関係者数十人が鑑賞。田邊団長以下、全員に緊張感がみなぎる。連携の乱れも若干ありましたが、無難に終了。盛大な拍手があり、明日の本番に向けての自信を深めました。

本番の日、人民劇場は超満員。通路にも人人があふれました。民謡が始まる。三味線の音色、歌声が劇場に流れ、場内には、感嘆の声。おぼつかなげな中国語での歌、拍手また拍手。民舞が始まっても万雷の拍手。

最後は、安慶市民との「北国の春」の大合唱で幕がおり、控室には、テレビ局のインタビューや新聞社の取材。茨木市から初めての文化交流は大成功でした。

そして、次の日、「再見」の連呼で別れを惜しみつつ、安慶を離れました。

レベルアップした 英語スピーチ大会

昨年11月3日、菊花の薫る文化の日に本市在住・在学の中・高校生を集めて英語スピーチ大会が開催されました。1984年から毎年開催されてきた本大会も9回目を迎え、内容もレベルアップしました。

中学生は「星の王子様」からの引用文を暗唱、高校生は自転車問題からPKO問題まで幅広いテーマで発表しました。多数の聴衆と大きなホールに最初は緊張気味の出場者20人も、壇上に上ると元気一杯の堂々としたスピーチを披露し、大きな拍手を受けました。また、大会終了後の審査員の先生による個人的なアドバイスも今後の参考になったようでした。

〔中学生の部〕〈優勝〉清水麻耶（北中）
〈二位〉長谷川知子（三島中） 〈三位〉西尚子（北陵中） 〈ジャパントイムズ賞〉黒田潤一郎（太田中）

〔高校生の部〕〈優勝〉金谷扇（同志社女子高） 〈二位〉西田陽子（神戸女学院高） 〈三位〉松本千愛（高槻北高） 〈ジャパントイムズ賞〉後岡亜由子（千里高）



舞台上の受賞者達

優勝 第2位 第3位 ジャパントイムズ賞

〔中学生の部〕



清水 麻耶 長谷川知子 西 尚子 黒田潤一郎

〔高校生の部〕



金谷 扇 西田 陽子 松本 千愛 後岡亜由子

《 協会会員を募集しています 》

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際交流に熱意をお持ちの方々の入会をお待ちしています。

会員には、春と秋に発行の協会報などによる本市国際交流活動情報の提供、協会が催す姉妹・友好都市との交流行事等のご案内をいたします。市制45周年の本年度は盛りだく

さんの行事を予定しています。いつでもご入会下さい。

〈年会費〉個人会員（一般） 2,000円
（学生） 1,000円
団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉協会事務局（市役所3階自治振興課国際交流係 ☎22-8121内線2143）

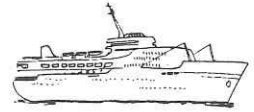
4月1日から、市役所が完全週休2日制となりましたので、協会事務局（市役所3階自治振興課内）も毎週土曜日は休みとなります。ご諒承下さい。

オリーブの島を訪ねて

11月の小豆島への

市民訪問団

昨年の11月9・10日、総勢28名の市民訪問団が紅葉映える姉妹都市・小豆島の内海町を訪れました。今回は、訪問団の旅の行程を通して、内海町の一部を紹介します。



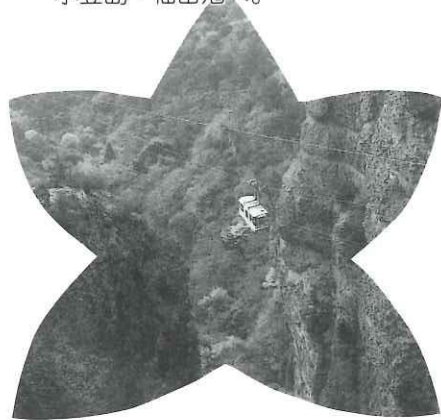
姫路港からフェリーで
小豆島・福田港へ。

○福田港



最初に大阪城築城残石を見学の後、オリーブ公園にあるオリーブ記念館に川西内海町長を表敬訪問。

この、地中海を思わせるオリーブ公園は、オリーブの林、ハーブ園、テニスコート等スポーツに、散策に、小豆島観光の新しい拠点です。



○八人石

2日目は、民俗資料館、マルキン記念館を見学後、日本三大溪谷の一つ「寒霞溪」へ。あいにくの雨模様でしたが、素晴らしい紅葉に訪問団も大満足でした。



▲茨木市市民海の家

○マルキン記念館



表敬訪問の後には「二十四の瞳」で有名な岬の分教場から映画のオープンセットを改築した映画村を見学。昔なつかしい情景に訪問団も昭和初期ヘタイムスリップ。

協会の恒例行事となったこの訪問も今回は天候が悪かったものの、内海町の方々の心のこもった歓迎に、訪問団一同大感激で、第二のふるさとができた思いでした。機会があれば皆様方もぜひ参加してみてください。

利用案内

小豆島観光には、「茨木市市民海の家」をご利用下さい。

〈宿泊料〉 大人（高校生以上） 2,000円
 小人（小・中学生） 1,500円
 幼児（小学生未満） 無料

〈申込〉 市役所3階自治振興課まで。
 6ヵ月前から受け付けます。

茨木市における国際交流の足あと

— 第18号以降の経過 —

(1992)

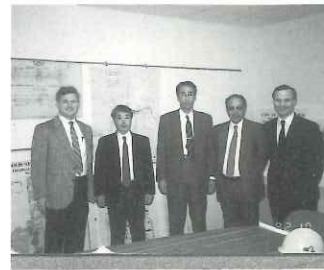
- 4.5 「'92小豆島オーリーブマラソン」に市民31人参加
- 5 安慶市より農業研修生・田存傑氏来茨。1年間本市で研修
- 7 第9回協会ゴルフコンペ開催
- 7 ミネアポリス市音楽グループ「シティー・キャッツ」来茨
- 7 ミネソタ州日本語村カウンセラー九万田忠孝君、佐竹花恵さん訪ミ
- 8 内海町との「こども交歓事業」（内海町から83人来茨、茨木市から45人訪内）
- 8 ミネアポリス市から少年サッカーチーム一行16人来茨
- 9 「安慶市スポーツ友好代表团」一行25人来茨
- 10 「茨木市友好訪中代表团」一行9人安慶市訪問
- 10 「茨木市人権交流訪問団」一行10人ミネアポリス市訪問
- 10 「茨木市民親善訪中団」一行21人安慶市訪問
- 10 市建築指導課長矢田健二氏、市下水道部工務課長代理黒川勝和氏、海外研修のためミネアポリス市訪問
- 11 第9回英語スピーチ大会開催
- 11 「内海町への市民訪問団」一行28人内海町訪問



表敬訪問の田存傑氏



ゴルフコンペ開会式



海外研修の矢田氏と黒川氏

(1993)

- 5.2 「安慶市友好代表团」一行5人来茨
- 3 「茨木市スポーツ親善訪中団」一行37人安慶市訪問



姉妹都市
活動室へ

英語力および国際感覚の向上をめざして、月2回、福祉文化会館（オークシアター）等で、外国人ゲストを迎えて英語の研究会や講演会を開催しています。どうぞお気軽にご参加下さい。

- 〈例会〉木曜会 第1木曜日午前10時～
土曜会 第3土曜日午後2時～
- 〈年会費〉正会員 2,000円（18歳以上）
準会員 1,000円（中・高校生）



青少年
活動室へ

「ハロウィーン・パーティー」、「買物へ行こう」…これは昨年度に行ったテーマのほんの一部です。外国人ゲストと一緒に楽しいゲームなどを通して世界中に友人をつくるどころ、それが青少年活動室です。楽しんでいるうちに身近な国際交流ができ、英語にも親しめます。

毎月原則として第2日曜日、福祉文化会館で開催しています。会費は無料。お気軽にご参加下さい。